

1 開会の日時及び場所

- ・日時 平成22年5月10日（月）午後2時～午後4時36分
- ・場所 中仙農村環境改善センター 2階 農事研修室

2 出席した委員等の氏名

- ・出席委員 秋山 康委員 伊藤慶子委員 小原杏平委員 金子美喜男委員
木元洋子委員 草薙幸隆委員 児玉誠良委員 佐藤育男委員
高貝昇太郎委員 高橋 修委員 高橋 一委員 寺田文夫委員
傳農富士夫委員

以上13名

(欠席 草薙昌美委員 高橋辰美委員 長谷山祥子委員 平瀬一浩委員
藤田貞子委員)

- ・市職員 副市長 久米正雄 企画部長 小松辰巳 中仙総合支所長 富岡曉雄
地域振興課長 高橋松男 市民課長 長澤孝秋 農林振興課長 傳農順一
建設課長 熊谷和則 教育委員会中仙分室長 皆川 貢 八乙女荘事務長
三浦哲夫 地域振興課参事 田口祥吾 市民課参事 煙山重幸
市民課参事 阿部利美 農林振興課参事 北田正雄 建設課参事 鈴木 仁
総合政策課副主幹 福原 敬 総合政策課副主幹 高橋正人

以上16名

3 新任の委員紹介とあいさつ

開会に先立ち、事務局地域振興課参事より、今年度に入り中仙亀の子クラブ代表が真崎めぐみ氏から伊藤慶子に交代、J A秋田おぼこ中仙担当理事も高橋國文氏から高橋一氏に交代しており、これに伴い4月1日付で両氏に中仙地域協議会委員の委嘱状を交付している旨の報告と紹介があり、その後両氏があいさつする。

4 次第

【開会】

会長が開会を宣言

【会議の成立】

事務局から出席委員13名、欠席委員5名で2分の1以上の出席があり、協議会が成立することを報告。

【会長あいさつ】

今日は公私多忙中会議にご出席いただきましてありがとうございます。市からは久米副市長さん始め中仙総合支所幹部の方々からご出席を賜りありがとうございます。早いもので今年度も5月になってしまいましたが、先般の大仙市の広報をみてみますと、今年度の予算は671億4525万円ということで、前年より6億円ほど増加しておりますが、中身を見てみますと一般会計では14億ほどオーバーしているようですが、特別会計でマイナスとなり、非常に厳しい状況下にあることは私たちも認識いたしているところであります。市の助成金は今年度も1割減ということで3年前から始まっているわけですからトータルで3割減というような状況になろうかと思えます。こうした厳しい中で市民の生活を守る市当局は非常にご労苦なさっていると思えます。その後労苦には多大なる敬意を表する次第です。また前回の協議会でもご案内いたしておりますが、地域枠予算は昨年度まで500万円戴いているわけですが今年度市のご配慮に寄りまして全体で500万円の増額となり、当地域でも102万円の増となっております、602万円の予算となっております。今日の議題を見てみますと市に対するご提言、そしてまた意見交換、各課からの説明など沢山あるようですが、せっかくの機会ですから皆様から忌憚のない意見を戴いて意見交換をして参りたいと存じます。今回から新しく委員となりました伊藤さん、高橋さん一日も早くこの協議会になじんでいただきご協力くださるようお願い申し上げます。

【職員紹介】

中仙総合支所長が本日出席の市職員を紹介する。

【副市長あいさつ】

中仙地域協議会の開会に当たりまして一言ご挨拶申し上げます。本日はご多忙の中ご出席いただきありがとうございます。大仙市では合併後もきめ細やかな自治を行うため、旧市町村に地域自治区を設置し、それぞれの自治区に地域協議会を設けてから5年が経過してございます。地域協議会は住民がそれぞれの地域の課題について話し合い住民自らが地域のために貢献する機会を作っていただくと共に市民の目線から施策を提案していただくこととございまして、地域自治区制度にとりましてもっとも大きな機関でございます。また市の大きな特徴としまして地域の特色を生かした機能は地域の抱える課題に迅速に対応できるものということで設けた地域枠予算がございます。先ほど会長さんがお話しされてました。各地域協議会がこの予算を活用することによりまして、住民一人の一人のまちづくりへの参画により市民との協働のまちづくりが着実に進んでいるものと考えております。こうした取り組みを進めるに当たっては当然ながら主役は市民の皆様でございます。市民が活躍できる場所は市民の皆様から担っていただき、行政が事業として取り組むべきものは行政が担うという基本により、お互いが協働しあうことが大切だと考えております。行政は市民が活躍できる環境を整える際にはどのようにしたらいいか、市民にとって本当に必要なものは何なのか常に考え施策に反映させていく必要があります。市政は市民のためという市長の基本理念の元、市側も市民と共に汗を流しながらまちづくりに取り組み、地方分権時代にふさわしい市民との協働のまちづくりを目指して引き続き努力して参りたいと考えております。今年度

の地域協議会関連の予算ですけれども引き続き各地域協議会委員の皆様を対象とした全体研修開催の他視察研修など各種活動事業に要する経費を措置しております。地域枠予算については全体で500万円を増額したところをございまして、大曲地域を除く7地域に人口割りで配分しており、中仙地域には602万円を配分しております。近年少子高齢化や人口減少で、大きな転機を迎えつつある地域公共交通の今後のあり方について、数ヶ月にわたり活発な議論をしていただき、市に対する提言としてまとめていただいたところをございます。検討に当たって、一つのテーマとすることは初めての試みでございました。難しい問題でもあることから、皆様には多大なるご労苦をおかけしたことと思ひます。この場をお借りして感謝申し上げます。また、先般5月2日に市長が中仙地域を訪れ、八乙女山周辺の桜を視察したようございまして、その八乙女山の桜は昨年ウソやテングス病によりほとんどが咲かなかったということから、昨年から中仙地域の人たちが八乙女山を守る会とか色々な人たちが活動なさいまして、今年は本当にすばらしい花が咲いたと市長も大変喜んでいました。この桜守りを、今年は市全体に広げようということで桜守りプロジェクトができて、インターネットにも掲載しているところですが、中仙地域はこのプロジェクトの一番先頭に立って活躍されているところでもあります。今後もこの活動を続けていただきたいと、市長も喜んでおりましたのでご報告させていただきました。今後も山積する様々な課題について、協議会の皆様と協議を重ねながら市民一人一人が生き生きと活躍でき、地域に愛着や誇りが持て、安心して暮らせるまちづくりを進めて参りたいと考えております。委員の皆様におかれましては、これまで以上のご理解とご協力をお願い申し上げますと共に、協議会が実りあるものになることをご祈念申し上げまして開会の挨拶とさせていただきます。

【議事】

(1) 会議録署名委員の指名

会長が草薙幸隆委員、寺田文夫委員の2名を指名。異議なしと認め了承する。

(2) 地域公共交通の提言について

- ・傳農会長…それでは議題(2)地域公共交通の提言についてを議題とします。これにつきましては、会を代表し私からご説明いたします。一つ目の提言は中仙町乗合自動車利用助成金についてです。平成12年4月1日に1路線から運行を開始した中仙タクシー運営の乗合タクシーは、現在5路線となっており、車の運転ができない地域住民の貴重な交通手段となっております。現在暫定施行されている中仙町乗合自動車利用助成金交付要綱により、実質300円の自己負担で利用しておりますが、市の乗合タクシー利用料金が500円となっており、やがてこの要綱も500円に改定となる旨前に説明を受けましたが、利用者は国民年金に頼る高齢者や高校生が主であり、また当路線は定時定路線の運行で、コミュニティバスや循環バスと同等と思われるので、中仙町乗合自動車利用助成金交付要綱の額を、当分の間現行どおりとして戴きたいということです。二つ目は、中仙タクシー運営の乗合タクシーについてでございます。地域住民の貴重な交通手段となっているこの乗合タクシーも、以前からの利用者が一人で外出できなくなったなどの理由や高齢者の運転免許証の返還が進まないことから減少傾向にあり、これに対し中仙タクシーでもで

きる限りの営業努力はしているようですが、将来利用者の激減等により採算性が失われ撤退するような危機に陥った場合、市の公共交通の一環と考え、地域住民の貴重な交通手段として存続できるようにしていただきたいというものです。以上よろしくをお願いします。（傳農会長、副市長の前に行き副市長に提言書を手渡す。その後自席に戻る。）副市長さん、コメントをお願いします。

- ・副市長…ただいま中仙の地域協議会から、公共交通について提言を戴きました。料金と乗合タクシーの存続についてでございましたが、大仙市全体を見てみますと、それぞれその地域が抱えておる過疎化とかで、公共交通に乗車する人が少ないなど、大仙市として今後の地域公共交通をどうするかとの問題がありまして、これをどうするか今ご協議いただいているところでございます。大仙市としても合併してから大仙市地域公共交通政策がございまして、これが22年度までのものであり、23年度から向こう5年間の計画を今年度中にまとめることにしております。この作業に入るため、各地域協議会に各地域の地域公共交通はどうあるべきかということをご協議いただいているところであります。今日、料金の自己負担分を当分の間300円ということと中仙タクシーの乗合タクシーが存続できるようにとのご提言でございましたが、先ほど申し上げましたとおり、来年度からの地域公共交通計画を本年度でまとめることになっておりますので、この内容について大仙市地域公共交通活性化再生協議会や市の職員で構成する地域交通対策チームで、財源等について協議していきたいと存じますので、今暫く時間を戴きたいと思っております。
- ・傳農会長…ありがとうございました。

(3) 意見交換

- ・傳農会長…それでは議題（3）意見交換に入りたいと思っております。せっかくの機会ですので活発な意見交換をお願いしたいと思います。よろしくをお願いします。八乙女山を守る会会員でもある佐藤委員どうですか。
- ・佐藤育男委員…大仙市桜の名勝八乙女公園となって、肩の荷が重くなったような気がします。ただボランティア団体ですので、やれることをやっているととらえていただきたいと思います。現在県の補助金を戴きながら活動しておりますが、いつまで続くかわかりませんので、そのときは地域枠予算をお願いしたいと思いますのでよろしくをお願いします。
- ・副市長…昨年からボランティアの方々に参加いただいて、今年は本当にいい桜が咲きました。私も4月末に来たときは、まだ咲いてはいませんでしたが、つぼみが沢山付いておりましたので、今年は大丈夫と思っておりました。大仙市では桜があちこちに沢山あります。そうした中で中仙地域には八乙女公園を中心として、斉内川周辺とか桜の木が連続してありますので、今までこの桜を守ってきたことを継続し、この後もあるものを生かしていくことが大切だと思います。地域の方々が自分たちでやらなければいけないとしてグループを立ち上げていただきましたので、支所の方でも中仙地域全体でこういうボランティア組織を立ち上げ、桜を守る会を支援していきたいと思っております。観光ということで斉内川の桜と関係がございまして、あそこに道の駅があるわけですが、この道の駅をもっと利用していただくため、大規模な改造をし、一緒に活性化できればと考えておりますのでよろしくをお願いします。

- ・佐藤育男委員…大仙市全体で桜を守るとなれば、高いところのテングス病枝をとれるよう貸出用の高所作業車があればいいと思いますがいかがですか。
- ・副市長…確かに手の届かない高い所に必要なのは十分にわかっております。リースで借り地域枠で出すか、市全体で期間限定で借り対応するとか、作業車は必要ですので様々な方法を検討する必要があると思います。
- ・金子美喜男委員…仙北組合総合病院建設の概要を、市の5周年記念式典の際市長から聞きましたが、駐車場とか進んでいるものについて教えてください。
- ・企画部長…現在市では、仙北組合病院の向いの旧ヤマサ周辺一帯を市街地再開発事業によりまして、建てる方向で作業を進めております。この件につきましては、平成22年度から国の補助事業ということで、国の方の今新しい制度となりました社会資本整備総合交付金、これの配分も戴きました。10年ぐらい前から病院の改築の計画がございまして、病院でございまして同じ場所にたてることはできないため、再築場所をできるだけ近いところに探しておりましたが、広さの関係もあり郊外に確保して建てるという構想をしておりました。しかし厚生連さんの財務状況が悪いため、事業に着手できないままここに来ております。昨年度国の方で新たな病院対策制度ができて、それを県を通じて決定いただき、地域医療再生臨時特例交付金というものですが、市街地再開発事業として25年度末までに仙北組合病院を改築という形で進めています。市街地再開発事業は市の事業じゃなく、地権者の方々が中心の組合事業施工という形になります。5月13日に組合の立ち上げを行いまして、どういう形で新たなまちづくりをするかの市街地再開発協議に対しまして、組合の方で病院を建てる、その跡地の整備も行うという形で、25年度末までに病院を建てまして、26、27年頃までには跡地も整備する方向で現在作業を進めております。駐車場ですけれども、現時点での病院の駐車場は300台未満で、新しい病院では、ねむのき駐車場が約300台、組合病院の現第3駐車場が160台、その他に再開発事業により立体駐車場を作るという形で240台程度を予定しております。駐車場については、今のように止めるところが無いという形には成らないある程度余裕を持った運営ができると思います。
- ・傳農会長…他にございせんか。(声無し) 無いようですので、意見交換をこれで終わらしまして次の議題に入りたいと思います。

(4) 平成22年度中仙地域自治区関係主要事業について

- ・傳農会長…それでは(4)平成22年度中仙地域自治区関係主要事業について議題に供します。一通り説明が終わった後ご質問、ご意見を賜ります。それでは地域振興課から順に説明願います。
- ・地域振興課長…地域振興事業費(地域枠)、自治会育成支援事業、地域交通運行事業(乗合自動車利用料金助成)、公有林整備事業、八乙女温泉改修事業、出前講座を主要事業として説明。
- ・傳農会長…次に市民課から説明願います。
- ・市民課長…地域児童健全育成推進事業等、高齢者福祉事業、高齢者生活支援事業、介護サービス事業、環境衛生・ごみ不法投棄防止事業、ごみ収集事業、ごみ袋無料配布事業、ごみ関係補助金交付事業、消防・水防・防災関係事業、狂犬病予防対策事業、

納税口座振替推進事業、国民健康保険給付事業、後期高齢者医療事業を主要事業として説明。

- ・ 傳農会長…次に農林振興課から説明願います。
- ・ 農林振興課長…米戸別所得補償モデル事業。水田利活用自給力向上事業、生産数量目標の配分方針、今こそチャレンジ「農業夢プラン応援事業」の推進、県営土地改良事業の推進、農地水環境保全向上対策事業、畜産の振興、森林整備、フロンティア農業者研修補助金、農業振興情報センター費、病虫害防除推進対策費、農業用廃プラスチック等処理支援事業を主要事業として説明。
- ・ 傳農会長…次に建設課から説明願います。
- ・ 建設課長…21年度繰越きめ細かな臨時交付金事業における対象市道9本、道路維持費対象市道2本、道路新設改良対象市道6本、中仙4号線の地域活力基盤創造交付金事業、下水道事業を主要事業として説明。
- ・ 傳農会長…次に教育委員会中仙分室から説明願います。
- ・ 教育委員会中仙分室長…中仙市民会館ドンパル自主事業、豊岡分館畳表替え修繕、中仙小学校創立40周年記念事業、豊岡小学校創立130周年記念事業、学校施設耐震補強工事を主要事業として説明。
- ・ 傳農会長…次に八乙女荘から説明願います。
- ・ 八乙女荘事務長…スプリンクラー設置事業、施設修繕事業、備品購入事業を主要事業として説明。
- ・ 傳農会長…説明が終わりましたので、ご質問等を伺います。始めに地域振興課についてお願いします。
- ・ 金子美喜男委員…出前講座について土、日もお願いできますか。
- ・ 地域振興課長…土、日は申請があれば行くことになっております。
- ・ 草薙幸隆委員…集落会館のトイレの改修ですが、どこまで補助対象となっておりますか。
- ・ 企画部長…トイレそのものは勿論ですが、下水道と接続するところまで対象となります。
- ・ 傳農会長…ここで3時40分まで休憩とします。(休憩時間午後3時35分から午後3時40分まで)
- ・ 傳農会長…会議を再開します。市民課についてのご質問等を伺います。
- ・ 児玉誠良委員…AEDを積載車のある分団に1台載せていただきたいのですが、いかがですか。
- ・ 市民課長…AEDについては市全体として調査中でありまして、1台20万円ぐらいで、総合計画に載っていないと予算が付かないので、今暫く時間を戴きたいと思っております。
- ・ 秋山康委員…税金の納付についてですが、一括納付の報奨金の復活はできないですか。
- ・ 市民課長…本庁の収納推進課と相談し、来年度に向けて検討したいと思います。
- ・ 副市長…報奨金制度は合併前各市町村にありましたが、裕福な人が対象で、市民全体に行くものでもないし、金利も安いので廃止となりました。納税貯蓄組合への報奨金も同じで、市民全員に公平でないため、これも廃止し自治会育成支援補助金に変えて

おります。税の収納率推進のため、新規に口座振替とした方には温泉の入浴券を差し上げています。

- ・ 傳農会長…他にございませんか。(声無し) 無いようなので、次に農林振興課へのご質問等をお願いします。
- ・ 秋山康委員…秋田エコライフに連携して、農薬を減らす新しい技術を取得した場合助成を考えていただきたいことと、減化学肥料に助成していただく方策の検討をお願いいたします。
- ・ 農林振興課長…非常に高度な質問で、また大事なことと思いますので持ち帰りながら本庁と検討して行きたいと思います。
- ・ 副市長…減農薬、減化学肥料はこれからの稲作の主流になると思います。今現在大仙市では、J A秋田おぼこの肥料米の精を使ったこだわり米には助成しております。ここでは桜ファームが米の精を使ってやっています。減農薬は普通通常の慣行栽培の農薬成分を半分にすれば対象になり、今年から大曲地域では、大曲はなのまいというグループが、農薬を少なくする栽培暦を作ってやるよう準備しているようです。これからは、虫が付いたから、いもちにかかったからすぐ消毒するというようなことではなく、虫が付かない、病気にかからない稲を作っていただきたいと思います。J A秋田おぼこでも今年4回目になりますが、おぼこの匠ということで、食味コンクールをやり、いいものを表彰しています。減農薬で化学肥料を使わない人がいい成績のようです。こういうことは進めていきたいと思います。
- ・ 秋山康委員…現在対象となる肥料が少なく、すそを広げていただきたいと思います。
- ・ 副市長…エコハンマーの認定関係等を確認してみたいので時間をいただきたいと思います。
- ・ 小原杏平委員…アメリシロ防除について、薬剤付きで機械を貸し出しするということができたが、65歳以上が5割というような地域はオペレーターもおらず、消毒そのものが大変ですので、前のようにオペレーター付けていただきたいと思います。出来なければ紹介をしていただくようお願いいたします。また他の町内とかち合い、調整が付かず待っていたときがありますので、時間調整等よろしくお願ひしたいと思います。
- ・ 農林振興課長…ご説明が足りなく申し訳ありませんでした。人数の少ないところには業者に頼んでオペレーターを付けております。申込みの多いときは半日、半日ぐらいで対応するよう検討したいと思います。
- ・ 傳農会長…次に建設課への質問を伺います。(声無し) 無いようですので教育委員会中仙分室への質問を伺います。(声無し) それでは八乙女荘への質問はございますか。(無しの声あり) 無いようなので議題(4)平成22年度中仙地域自治区関係主要事業についての審議を終え次の議題に入ります。

(5) 地域枠予算事業について

- ・ 傳農会長…議題(5)地域枠予算事業についてを議題とします。1つずつ審議をしたいと思います。説明をお願いします。
- ・ 地域振興課長…実施類型Ⅱ1. 中仙庁舎西側、八乙女荘、桜寿苑環境美化活動ですが、長野中16期会が今年も市と協働で行いたいというもので、庁舎西側に900本のマリーゴールドを植栽、八乙女荘、桜寿苑はプランターに300本のサルビアを植栽し、

これを管理するものです。市の支出を苗、肥料、土、堆肥代として129,000円としております。

- ・ 傳農会長…説明が終わりましたのでご質問、ご意見を伺います。いかがですか。(無しの声あり) 無いようなので承認してよろしいですか。(異議無しの声あり) 異議がないようなので1. 中仙庁舎西側、八乙女荘、桜寿苑環境美化活動を承認することに決定します。次の説明をお願いします。
- ・ 地域振興課長…2. 長野地区子供会・育成会親子共同花壇づくり事業ですが、これも昨年に引き続き、市と長野地区子供会育成会連合会の協働事業として、同連合会が管轄する子供会の花壇やプランターに花600本を親子で植栽し、これを管理するといふものです。市の支出は花苗代54,000円をみています。
- ・ 傳農会長…説明が終わりましたのでご質問、ご意見を伺います。いかがですか。(異議無しの声あり) 異議がないようなので2. 長野地区子供会・育成会親子共同花壇づくり事業を承認することに決定します。次の説明をお願いします。
- ・ 地域振興課長…3. 中仙地域児童書道作品裏打ち表装ボランティア事業ですが、これも昨年に引き続き市と中仙表装倶楽部の協働事業として、中仙地域の小学校6年生を対象とし、自分で作成した書道作品を中仙表装倶楽部の指導により、裏打ち表装を行い卒業記念とするものです。芸術への関心を深めると共に良き思い出を作ることを目的としております。市の支出は材料代とミニアイロンの使用料で162,000円をみております。
- ・ 傳農会長…説明が終わりましたのでご質問、ご意見を伺います。いかがですか。(異議無しの声あり) 異議がないようなので3. 中仙地域児童書道作品裏打ち表装ボランティア事業を承認することに決定します。次の説明をお願いします。
- ・ 地域振興課長…4. コミュニティづくりレクレーション事業ですが、市と中仙地域コミュニティ・レクレーション連絡会が協働で、地域としての一体感の醸成と交流によるふれあい等を図り、活力ある地域を作るため、地域住民の体育祭やレクレーション事業を支援するものです。市の支出は6地区で240,000円をみております。
- ・ 傳農会長…説明が終わりましたのでご質問、ご意見を伺います。いかがですか。
- ・ 小原杏平委員…お願いします。公民館はコミュニティづくりの公共施設で、運営についても中仙地域は独特の伝統があり、今は分館となって存続の是非も問われておりますが、絶対必要と思いますので、政治的に無くすことなく存続するようお願いいたします。
- ・ 副市長…地域の人がやろうとしている事には助成します。
- ・ 金子美喜男委員…これは現物を支給するのですか。
- ・ 地域振興課長…現物で支給します。
- ・ 傳農会長…他にございませんか。(声無し) それでは承認することとしてよろしいですか。(異議無しの声あり) 異議が無いようなので、4. コミュニティづくりレクレーション事業を承認することに決定します。次の説明をお願いします。
- ・ 地域振興課長…5. 菅江真澄の道標柱改修事業ですが、市と中仙地域菅江真澄研究会が協働で、著しく劣化し字が見えないなどの指摘のあった4本を中仙地域菅江真澄研究会の労力提供により改修し、当地を訪れる菅江真澄研究者が当市に悪いイメージを持たないようこれを回避するものです。市の支出は4本の標柱の作製代147,000

0円をみております。

- ・ 傳農会長…説明が終わりましたのでご質問、ご意見を伺います。いかがですか。
- ・ 金子美喜男委員…館ノ郷神社の所の標柱も除雪で曲がっているので、敷地内奥に移動していただきたいと思います。
- ・ 地域振興課長…調査し検討したいと思います。おれるような場合は追加したいと思います。
- ・ 傳農会長…他にございませんか。(声無し) それでは承認することとしてよろしいですか。(異議無しの声あり) 異議が無いようなので、5. 菅江真澄の道標柱改修事業を承認することに決定します。次の説明をお願いします。
- ・ 地域振興課長…6. 文化財防火デーPR事業は、毎年文化財防火デーに県内唯一の国宝である水神社の御神体を火災から守るため、大仙市消防団中仙支団第4分団と地元住民が防火訓練を実施していますが、更に文化財保護精神の高揚を図るため、市と大仙市消防団中仙支団第4分団が協働で幟旗を県道に設置し文化財保護を呼びかけるというものです。市の支出は幟旗50枚の作製とポール50本の購入費用181,650円をみております。
- ・ 傳農会長…説明が終わりましたのでご質問、ご意見を伺います。いかがですか。(異議無しの声あり) 異議がないようなので6. 文化財防火デーPR事業を承認することに決定します。次の説明をお願いします。
- ・ 地域振興課長…実施類型Ⅲ1. 小沼山の踊り衣装及び馬子唄鈴増補・「夢」石碑補修事業ですが、これは豊岡小学校創立130周年記念事業実行委員会が記念事業として、平成3年から使用してきた小沼山の踊りの衣装と馬子唄鈴が劣化し不足するような状況となっているため増補することと、創立100周年事業で建立した「夢」の石碑の土台の亀裂の補修を行うもので、これに対する補助金を交付するものです。補助金の申請額は全体の事業費237,500円の6分の5以内の190,000円です。以上ご説明を終わります。
- ・ 傳農会長…説明が終わりましたのでご質問ご意見を伺います。いかがですか。(異議無しの声あり) 異議がないようなので実施類型Ⅲ1. 小沼山の踊り衣装及び馬子唄鈴増補・「夢」石碑補修事業を承認することに決定します。これで議題(5)地域予算事業の審議を終わります。次に6. その他ですが何かございますか。(声無し) 無いようなのでこれをもちまして本日の議題の審議を終了します。

【閉会】

会長が閉会を宣言

署名

中仙地域協議会運営規程第7条第2項の規程により会議の次第を記載しこれに相違ないことを証明するためここに署名する。

平成22年5月10日

會議錄署名委員

議長

委員

委員